



住宅火災
死者の

6割以上が逃げ遅れ

データ出典：平成19年版「消防白書」



火災警報器の

火災発生
件数は

10分に1件

総務省消防庁平成19年データ

設置はお済みですか？

住宅用火災警報器で、火災の早期発見!!

煙に反応するタイプ「煙感知器」



居室連動タイプ
壁取り付け式

市販の
火災警報器は
大きく分けて
2つのタイプ

熱に反応するタイプ「熱感知器」



全ての寝室や 階段最上部には、 必ず設置!!

〈詳しくは裏面をご覧ください〉

住宅火災100件当たりの死者数は
「設置なし」に対して「設置あり」は

およそ1/3に減少!

総務省消防庁資料より

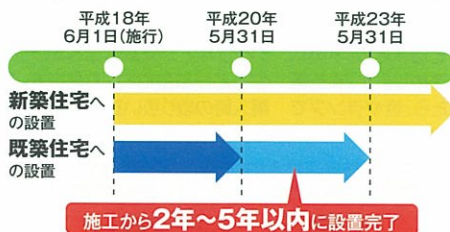
住宅用火災警報器の設置は、法律で義務づけられています。

消防法が改正され、平成18年6月1日から、
新築・既築を問わず設置が義務化。既築住宅は各
市町村条例により、原則として

平成20年5月31日、遅くとも

平成23年5月31日までを

期限として設置の完了期日が定められています。
各市町村の対応期日をお確かめください。



火災警報器の品質を保証するものに、日本消防検定協会の鑑定があります。火災警報器購入の目安としてつぎのようなNSマークがついているものをお選びください。



●火災警報器は、消火器などとともにホームセンターなどでも取り扱っています。

注！ リフォーム工事に関する悪質な訪問業者にご注意を!

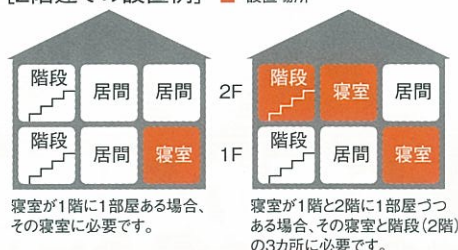
詳しくは、トヨタホームオーナーズデスクにお問い合わせください。

住宅用火災警報器の設置場所は？

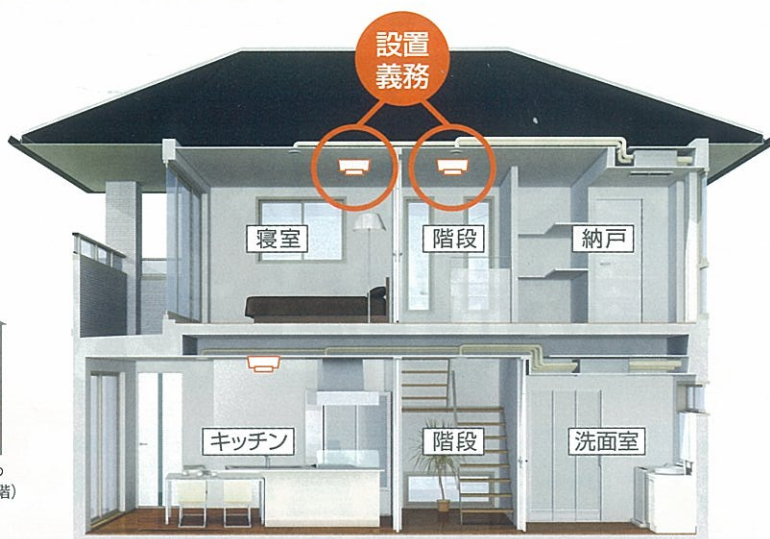
- 全ての寝室
- 寝室がある階の階段最上部に「煙感知器」を取付けます。

※但し、市町村によっては条例にて「熱感知器」を設置

[2階建ての設置例] ■=設置場所



必要に応じて
他の部屋にも設置すると、
さらに安心です。

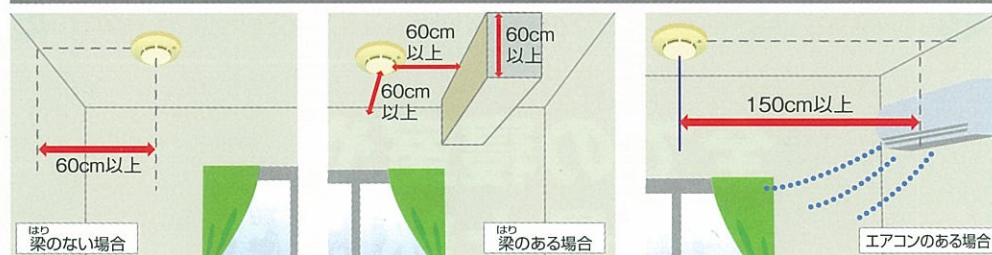


※キッチンへ警報器を取り付ける場合、お住まいの市区町村が、火災報知器の設置を義務付けていないかを確認します。キッチンへの火災報知器の設置義務がない場合であっても、条件にあった機器を選び取り付けられることをおすすめします。

取り付け方は？ 火災警報器は、天井や壁に取り付けることができます。詳しくはトヨタホーム店へご相談、または、取扱説明書をよく読んで、正しい位置にお取り付けください。

正しい設置位置で効果が発揮されます。

天井へ設置するとき、ここに注意。



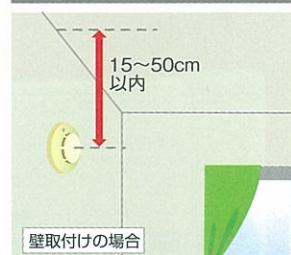
！ 注意

火災警報器の中心(感知部)を壁から60cm以上離して取り付けます。天井に60cm以上の梁がある場合には、火災警報器の中心から60cm以上離します。

！ 注意

エアコンや換気扇の吹き出し口付近では、150cm以上離します。

壁に設置する場合



！ 注意

天井から15~50cm以内に火災警報器の中心(感知部)がくるようにします。

お手入れは？ 火災警報器は、長く取り付けていれば、故障したり、交換が必要になります。つぎのようなことに注意し、お手入れすることをおすすめします。



住宅用火災警報器のお手入れ 3つのポイント。

- ① 乾電池タイプは交換を忘れずに。
- ② おおむね10年をめぐに、機器の交換が必要です。
- ③ 定期的に作動するか点検しましょう。

乾電池タイプの火災警報機は、電池の交換が必要です。定期的な作動点検のときに「電池切れかな?」と思ったら、早めに交換することをおすすめします。また電池が切れそうになったら、音やランプで交換時期を知らせてくれます。

火災警報器の交換は、機器に交換時期を明記したシールが貼ってあるか「ピー」という音などで交換時期を知らせます。そのめどがおおむね10年です。詳しくは購入時の取り扱い説明書を確認してください。

定期的(1ヶ月に1度が目安です。)に、火災警報器が鳴るかどうか、テストしてください。また長期に家を留守にしたときにも、火災警報器が正常に動くかテストしましょう。点検方法は、本体の引きひもを引くものや、ボタンを押して点検できるもの等、機種によって異なりますから、購入時に点検方法を確認してください。

お問い合わせ先